

提 案 書

提案名 (25字以内)	第三世代が考えるヒロシマ「」継ぐ展 2016
グループ名 (25字以内)	ヒロシマ「」継ぐ展実行委員会

【1】提案グループの現在の主な地域社会貢献活動の内容及び最近5年以内の実績、またグループの紹介を記入してください。

私たちは「戦争を知らない世代が次の世代へ継承していく方法を探る」ことをテーマに活動をしている団体です。戦後70年の2015年7月30日～8月6日、中野区で第1回「第三世代が考えるヒロシマ「」継ぐ展」を開催しました。8月6日には、広島市元安川の恒例行事である「とうろう流し」を会場やWEBサイトから参加できるアプリを開発し、広島と東京を繋ぎました。重いテーマに関心をひくような工夫を行い、開催者・来場者同士のコミュニケーションを取る仕組みをつくったことで、来場者からは、たくさんの感想を頂いています。第2回は、2016年8月3日～8日みなとみらいギャラリーでの開催が決定しています。「第三世代が考えるヒロシマ「」継ぐ展」の「」には、この展示会を通じてそれぞれが心で感じたことを「」にこめ、それぞれの方法で未来へと継いでいってほしいという願いを込めています。個人の思想や価値観、年齢や職業、国籍にとらわれない、「」継ぐの想いが広がるように活動を続けていきます。

ホームページ <http://tsuguten.com/>

【2】助成を受けて行う活動の年間計画を記入してください。

月	内 容
4月	広島県や神奈川県被爆者・伝承者への取材、原爆瓦・石を運搬、後援・協賛募集活動
5月	会場設計、とうろう流しアプリ開発、インタビュー英訳、WEBサイト制作
6月	継ぐ展WEBサイト開設、広報チラシ制作・WEB広報、展示物設計
7月	展示物制作、とうろうアプリテスト運用、広報資料配布
8月	3日～8日、「第三世代が考えるヒロシマ「」継ぐ展」開催 6日、広島平和記念公園内でブース開催
9月	実施報告書制作・配布
10月～3月	

【3】助成を受けて行う活動の内容について、次の項目に沿って記入してください。

- (1) 活動の内容 (2) 活動の主催者及び参加者 (3) 活動を実現するための方法 (4) 時期 (5) 場所
(6) 当地区で活動を行う理由 (7) エリアマネジメントの効果 (活動を行うことによる当地区への効果)
(8) その他、特徴やアピールする点

(1) 活動の内容

- ヒロシマの記憶を継ぐひとインタビュー展示：今、ヒロシマを語り継いでいる人たちは何を想い、何を伝えようとしているのかを知る被爆者、伝承者、若者の平和活動者などを取材し、WEB や紙媒体、展示物にまとめます。今年は大学生と共にこの活動を行おうと考えています。
- リアルトーク：被爆者・伝承者・ピースボランティアを会場に招き、来場者の質問に応え、体験を共有します。講演会ではなく、少人数での対話を大切にします。
- ヒロシマ原爆資料パネル展示、原爆瓦の展示：広島平和記念資料館から提供を受け、原爆投下された敬意や被爆の実相等をパネル展示。広島大学研究員から提供を受け、広島市元安川から拾った原爆を受けた瓦や原爆ドームの一部を展示します。
- とうろうに込めるメッセージ：独自開発のアプリを通じ、プロジェクターに映し出された仮想空間の川にとうろうを流し、過去と未来、開催地と広島、世界を繋ぎます。
- ワークショップ：とうろうを制作し、8月6日、広島市元安川「とうろう流し」で実際に流します。ピースポータープロジェクトとの共同企画です。
- 子どもの夏休み自由研究課題：教材やスタンプラリーにより、自然と興味を持ち、自ら調べ考え、質問できるツールと場を提供します。

(2) 活動の主催者及び参加者

主催者：ヒロシマ「」継ぐ展実行委員会 メンバー

参加者：企画展制作協力者・ボランティアスタッフ、来場者

(3) 活動を実現するための方法

・開催会場（みなとみらいギャラリー）の予約（済み）・横浜の被爆者の方々へのインタビュー（横浜原爆被災者の会）依頼活動中・みなとみらい、横浜エリアの大学、教育機関への折り鶴制作やボランティアスタッフ手配などの協力要請・被爆者の方への語り部依頼、広島平和活動者、被爆者への取材・ラジオ、テレビ、新聞等のメディアを通じた活動発信（第一回、朝日新聞、中国新聞、読売新聞等に掲載）

(4) 時期：2016年8月3日（水）～8日（月）

(5) 場所：みなとみらいギャラリー

(6) 当地区で活動を行う理由

- 国際文化都市であること：展示物は、英語略されており、みなとみらい地区の年齢や国籍等を問わずオープンな未来に拓かれたイメージは、本展示会の国籍や価値観、思想にとらわれない想いと合致したため。
- みなとみらい21が目指す都市像が「21世紀の情報都市」であること：みなとみらい21が目指す都市像の項目の中には「情報を創造・発信する情報都市として機能している都市像」とあります。本活動では、若い世代を意識し、とうろう流しのWEBアプリ開発を行いました。本活動は、情報発信と共に、その手段を創造しています。
- 展示会場や商業施設が集まり、多年齢・多国籍の人が集まる場所であること：世代と世代、日本と世界、それぞれを繋げることを意識して活動をしています。

(7) エリアマネジメントの効果

- 商業施設への貢献：第一回の来場者数は東京会場 525 名（1 週間）広島とうろう流し会場ブース 300 名（1 日）でした。特に、多くの親子連れの層が自由研究ツールを持参して来場することが見込まれ、来場前後の飲食などで商業施設へ貢献が出来るのではないかと考えます。
- 地域の価値の向上：本活動は、思想や価値観、国籍や年齢を意識的に排除し、事実を伝えることに重点を置いています。一方で、英訳を付す、英語が話せるスタッフを配置すること等も行っており、みなとみらい21地区が目指す国際文化都市や情報都市像に貢献すると考えています。

(8) その他、特徴やアピールする点

ヒロシマ「」継ぐ展実行委員会は、さまざまなジャンルのメンバーで構成されています。年代や場所を超えた協力者も多く、人と人が自然と繋がりが広がっています。人とのつながりを核として、全国へ活動拠点を広げていく計画です。



「考える」ことから始めよう
ーヒロシマがおしえてくれることー

第三世代が考える
ヒロシマ「継ぐ展」
Hiroshima - 3rd Generation Exhibition : Succeeding to History

2015年7月30日(木) - 8月6日(木)

【会場】space&cafe ポレポレ坐 【時間】11:30-23:00 【入場】常設展 無料

〒164-0003 東京都中野区東中野4丁目4-1 ポレポレ坐ビル1階 TEL:03-3227-1445

休館日:8月3日(月) ※イベント開催時の常設展 時間:2日 14:00-18:00 6日 7:45-9:00 / 12:00-17:30



主催:ヒロシマ「継ぐ展」実行委員会 企画・構成:久保田 涼子 URL:<http://tsuguten.com> Facebook:<https://www.facebook.com/tsuguten> Twitter:https://twitter.com/h_tsuguten
後援:広島市, 中野区, 中国新聞社, 広島ホームテレビ, 広島エフエム放送, テレビ新広島, 広島テレビ, 中国放送, FMちゅービー 76.6MHz, HIROSHIMA SPEAKS OUT, クリエイター集団ROOT
技術協力:株式会社アーキタイプ 協力:Peace Porter Project, とろろ流し実行委員会, 自然派レストランAGRI, (有)水木書店, Coco-Factory ナレーター事業部, 津久井智子, Baobab Design Company
協賛: 宮島 大本山 大聖院, 株式会社ファンブ, 株式会社DMC広島, 森の風ようちえん, 株式会社セラマ, sgmr/shigemori-design ロゴ:伊藤哲朗 イラスト:一條おろち ポスターデザイン:和泉直樹

メディア

HIROSHIMA
継ぐ展



朝日新聞 2015年7月26日 朝刊掲載



中国新聞 2015年7月25日 朝刊掲載



産経新聞 SMAP多摩版 2015年7月24日号掲載



読売新聞 2015年7月30日 朝刊掲載

広島 FM「5 COLORS」7月15日出演 / 8月6日 とうろうに込めるメッセージの中継
 RCC ラジオ「おひる一な」7月21日出演 / RCC ラジオ「Canvas」8月21日出演
 朝日新聞 8月6日 夕刊掲載 / 中野区役所 8月6日 取材、掲載

収 支 予 算 書

グループ名 ヒロシマ「」継ぐ展実行委員会

1 収入(自己資金や他の助成金などを記入してください。)

項 目	金 額	説明(負担者及び負担方法等)
助成金(A)	500,000	
自己資金	800,000	代表が個人の私財から負担
合 計(B)	1,300,000	(B) ≥ (C)

2 支出(助成金対象経費分)

項 目	数量 (単位)	単 価	金 額	説 明
印刷費	1 (式)	142,000	142,000	フライヤー1万枚印刷 展示パネル印刷30枚 インタビュー印刷20ページ× 4冊 実施報告書製本10冊
広告宣伝費	1 (式)	132,000	132,000	WEB・フライヤー制作費 ※昨年実績
会場設営委託費	1 (式)	200,000	200,000	とうろう流し会場設営・運営 委託費(機材費込) ※昨年実績
会場費	1 (式)	226,800	226,800	みなとみらいギャラリー A B使用料
郵送費	40 (通)	510	20,400	後援・協賛・広報などへ のフライヤー郵送費
被爆者・同行者旅費	2 (名)	45,000	90,000	被爆者岡田恵美子さんと 高齢のため同行者久保田 良枝の旅費
被爆者・伝承者謝礼	6 (名)	20,000	120,000	会場で講演される被爆 者・伝承者への謝礼
材料費	1 (式)	150,000	150,000	会場展示物材料費 ※昨年実績
交通費	5 (人)	35,000	175,000	広島取材時にメンバーが 移動する交通費
人件費	5 (人)	6000	30,000	会場設営時のアルバイト スタッフ
合 計(C)			1,286,200	【みなとコース】(C) ≥ (A) 【みらいコース】(C) × 4/5 ≥ (A)